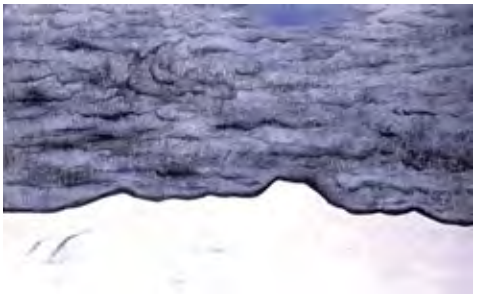
田村一男記念展示室

平成29年度第3期
9月5日[火]～2018年1月8日[月]

山、眠る ③　田村一男没後20年

田村一男(1904～97年)は、信州の山々に親しみ、日本の大地を愛した画家です。
20歳を過ぎて訪れた蓼科高原の雄大な景色に魅せられ、生涯を通じて日本の高原風景を主題としてきました。とくに田村は、毎年のように信州を訪れ、信州の風景を題材にした作品を数多く残しています。こうした高原風景には、田村が自身の肌で感じた自然の厳しさと大地のぬくもりがそこはかとなく漂います。
今年は、田村が没してから20年。そこで、今年の記念展示室は、「山眠る」と題して、田村がとくに好んで描いた日本の冬をご紹介します。「山眠る」は「冬」の季語。ときに田村が描いた山の絵は、田村自身の姿を投影したかのような静けさとゆるぎない堅牢さをたたえています。70年余りにわたる田村の画業をご堪能ください。



上段左から
《北越雪》1961年／《白の世界の肖像》1977年／《冬声》1976年
下段左から
《雪の白樺湖》1997年／《白いやまなみ》1980年

松本市美術館
MATSUMOTO CITY MUSEUM OF ART
〒390-0811長野県松本市中央4丁目2-22
tel:0263-39-7400 fax:0263-39-3400
museum@city.matsumoto.nagano.jp